

鶴見区区政会議 令和元年度第2回子ども教育部会議事録（要旨）

1 日 時 令和元年9月30日（水） 19時00分～20時36分

2 場 所 鶴見区役所 4階 402会議室

3 出席者

（委員）

前川部会長、猿渡副部会長、田中（泰）委員、藤本委員、宮川委員、山口委員、米島委員、渡邊委員

（区役所）

武富副区長、中村教育担当課長、松井子育て支援・保健担当課長、大川教育担当課長代理、仲田総務課担当係長、吉岡総務課担当係長、藤本保健福祉課担当係長、泉谷保健福祉課担当係長、岡田保健福祉課担当係長

4 議 題

- 1 区政会議における意見への対応状況
- 2 令和2年度鶴見区運営方針のたたき台について
- 3 鶴見区区政会議委員評価シート（結果）
- 4 区政会議に関するアンケート（結果）
- 5 その他

5 議 事

（1） 武富副区長開会のあいさつ

（2） 令和元年度第1回全体会における主な意見の説明

➤ 委員からの質問・意見等

- 区社会福祉協議会、区役所、つなげ隊の連携について、具体的な内容や期限は決まっているのか。
 - つなげ隊は地域活動協議会から推薦されており、地域活動協議会の部会に所属したり、運営委員に選出されている方も多し。地域の会議やつなげ隊の連絡会で情報共有、連携を図っている。一層連携強化の仕組みづくりを行っていきたいが、期限については未定である。

(3) 令和2年度鶴見区運営方針のたたき台について説明

○子育てを応援するまちづくり

➤ 委員からの質問・意見等

- こどもの不登校が必ずしも貧困ではないと思う。
 - 教室で授業を受けることができなくなったことにより、授業についていけず退学するケースなどがある。そのこどもが将来貧困に陥るリスクを防ぐということである。
- こどもの貧困対策の中で不登校問題を取り上げることに違和感がある。不登校であっても自分の道を見つけた方も存在する。
- こどもの貧困対策については、再度検討して頂きたい。
 - 違和感をもたないような表現に工夫していきたい。

○まなびを応援するまちづくり（まなびを通じたつながりづくり）

➤ 委員からの質問・意見等

- 他都市では生涯学習の作品を広報紙で紹介している。このような取り組みをおこなってはどうか。
 - 今年度、広報紙で各生涯学習ルームを連載で紹介している。引き続き作品の紹介などについて検討する。
- おもてなし茶会では茨田北中学校の茶道部が協力をしているとのことだが、子どもたちに茶道を経験させるようなマッチングはできないか。
 - 以前の区政会議で委員から、知識や技術の提供、作品を展示したい、それらを受けたいなどニーズのマッチングをする仕組みづくりについて意見があったが、令和2年度の「つるみ まなびのわっか」立ち上げに向けて、今年度中の試行実施に取り組む。

○まなびを応援するまちづくり（学校教育の支援）

➤ 委員からの質問・意見等

- 校長会、教頭会で全国学力・学習状況調査の平均正答率が大阪市や全国を上回っている学校とそうではない学校は何が違うのか話をしたりしないのか。
 - 校長会、教頭会では個別の話はしないが、校長間での情報交換は行われている。
- 各学校からの要望によりサポーターを配置しているが、漢検など各学校からの要望はないのか。
 - 校長経営戦略支援予算については、校長に要望を確認し事業実施を行っている。

- 地域活動協議会の運営会議に学校側が参加して、見守り活動をしてほしいなどの要望等を伝えてほしい。それによって地域と学校が連携できると思う。学校協議会の場合では学力の話だけで、このような話はされていない。
 - 学校協議会からそのような取組みの要望が学校側にされれば、学校から区役所へ意見としてフィードバックされると思う。
- 出前授業に加えて、何か具体的な取組みはないのか。
 - 「夢・未来創造事業」として、出前授業を企業の協力のもと、学校の授業の中で無償で行ってもらっている。引き続き取り組んでいく。
- 体力について、中学生は部活動、小学生は遊びで伸びると思う。しかし、一部の小学校では全校児童が一堂に遊ぶ場所がないという状況である。

(4) 鶴見区区政会議委員評価シート（結果）について説明

区政会議に関するアンケート（結果）について説明

- 委員からの質問・意見等
なし

(5) 事務連絡